

関西フィルハーモニー管弦楽団 東京特別演奏会

類例を見ない指揮者とオーケストラの強固な密度を、関西から東京へ…
藤岡&関西フィルが長年培ったものを体現するシベリウスの情熱
吉松が館野に捧げた繊細な美、改訂版世界初演者が再び集い新たな感動を!

サン＝サーンス

交響詩「死の舞踏」作品40

Camille Saint-Saëns: Danse macabre Op.40

吉松 隆

左手のためのピアノ協奏曲

「ケフェウス・ノート」作品102a

〈改訂2管編成版・関東初演〉

(「館野泉左手の文庫」助成作品)

YOSHIMATSU, Takashi:

Concerto for piano left hand and orchestra "Cepheus Note" Op.102a

シベリウス

交響曲第1番 ホ短調

作品39

Jean Sibelius:

Symphony No.1 E minor Op.39

ピアノ
館野 泉

TATENO Izumi, piano

指揮

藤岡 幸夫

関西フィル首席指揮者

FUJIOKA Sachio, conductor

KANSAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

2009 7月1日(水) 19:00開演(開場18:20) 18:40~藤岡幸夫によるプレトーク

サントリーホール・大ホール

〔南北線〕六本木一丁目駅(3番出口) 徒歩約5分 〔銀座線・南北線〕溜池山王駅(13番出口) 徒歩7~10分

S席¥6,000 A席¥4,000 B席¥2,000 (全席指定・消費税込)

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員 S席¥5,400 A席¥3,600 B席¥1,800

関西フィル友の会価格 S席¥4,800 A席¥3,200 B席¥1,600 ※関西フィル事務局06-6577-1381へお問合せください。

お申込み・お問合せ: ジャパン・アーツぴあ 03-5237-7711 www.japanarts.co.jp/

サントリーホール・チケットセンター 03-3584-9999 関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6577-1381

電子チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999 イープラス eplus.jp 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (4/1から)

特定非営利活動法人

主催: 関西フィルハーモニー管弦楽団 / ジャパン・アーツ

特別協賛: タイキエン工業株式会社

後援: フィンランド大使館 / 日本シベリウス協会

※乳幼児・未就学児のご同伴、ご入場はご遠慮ください。
※車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。

90
Suomi September

90th anniversary
of the diplomatic relations
between Finland and Japan
日本・フィンランド修交90周年

Kansai Philharmonic
Orchestra

世界屈指の絆、藤岡幸夫 & 関西フィル!

私たち関西フィルハーモニー管弦楽団が、藤岡幸夫を正指揮者に迎えたのが2000年。他に類例を見ない「指揮者とオーケストラの関係」が始まった瞬間である。年40回を超える密度の高い共演、クラシックの裾野を広げる新シリーズ、吉松隆を始めとする新作初演などの取り組み。この9年間、関西における「オーケストラ独自の顔」を浸透させてきた。藤岡幸夫とでなければ実現出来ない関西フィルらしさが、確かに在るのだ。そして遂に、その個性をサントリーホールに問う機会が訪れる。藤岡が恩師から継承する思いに乗せて、関西フィルと折りに触れて取り上げてきたシベリウス「交響曲第1番」怒涛の情念。吉松隆が館野泉のために書き、改訂版世界初演を藤岡・館野・関西フィルが手掛けた名作「ケフェウス・ノート」東京での初めての登場。と、藤岡と関西フィルの現在を伝えるに相応しい作品を並べる。私たちが目指すのは、指揮者の音楽性とオーケストラの持ち味とを融合させた唯一のもの。藤岡と関西フィルの9年間の育った響きを存分に味わっていただきたい。

特定非営利活動法人 関西フィルハーモニー管弦楽団

Profile

指揮



藤岡 幸夫 関西フィル首席指揮者 FUJIOKA Sachio, Conductor

1962年東京生まれ。幼少よりピアノ、チェロを学ぶ。指揮法を故渡邊暁雄、小林研一郎、松尾葉子に師事。サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。慶應義塾高等学校を経て、慶應義塾大学文学部卒。英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒。日本フィル指揮研究員を経て90年に渡英。92年、英国人若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴズ記念奨学賞」を特例で受賞。94年のロンドンの夏恒例名物「プロムス」にデビューし大成功を収める。BBCフィルハーモニック副指揮者、マンチェスター室内管弦楽団の首席指揮者を経て、現在はヨーロッパ、オーストラリアなどで活躍を広げている。近年では06年スペイン国立オヴィエド歌劇場にて「ねじの回転」でスペイン・オペラにデビュー、ベスト・パフォーマンス賞を受賞。すぐに09年に「ナクソス島のアリアドネ」で再客演が決定。95年より2003年2月まで日本フィルハーモニー交響楽団指揮者を務める。2000年より関西フィルハーモニー管弦楽団正指揮者を務め、その後2007年4月より同管弦楽団の首席指揮者に就任。積極的な指揮活動を展開している。英CHANDOSと契約。今後も吉松隆全管弦楽作品を録音していく予定。渡邊暁雄氏の最後の愛弟子であり、故ショルティのアシスタントを務めていた。2002年度渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

■公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio-fan.com/>

ピアノ



館野 泉 TATENO Izumi, Piano

1936年東京生まれ。慶應義塾高等学校を経て、60年東京芸術大学首席卒業。64年よりヘルシンキ在住。68年、メシアンコンクール第2位。同年より、フィンランド国立音楽院シベリウス・アカデミーの教授を務める。81年よりフィンランド政府の終身芸術家給与を得て、90年以降は演奏活動に専念。06年「シベリウス・メダル」授与。演奏会は世界各地で3000回以上、リリースされたCDは100枚にのぼる。人間味溢れ、豊かな叙情性をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得ている。02年脳溢血（脳出血）により右半身不随となるが、04年「左手のピアニスト」として復帰。06年左手の作品の充実を図るため「館野泉左手の文庫（募金）」を設立。館野泉に捧げられた本邦初の左手のためのピアノ協奏曲「ケフェウス・ノート」は、07年ドレスデン歌劇場管弦楽団日本公演にて初演、08年夏ヘルシンキにおいて海外初演、関西フィル定期演奏会（大阪）において2管編成版が初演され、大きな反響をよんだ。同年、旭日小綬章受章、および文化庁長官表彰受賞。

■公式ホームページ <http://www.izumi-tateno.com/>

作曲



吉松 隆 YOSHIMATSU Takashi, Composer

1953年東京生まれ。慶應義塾高等学校を経て、慶應義塾大学工学部を中退後、一時松村禎三に師事したほかはロックやジャズのグループに参加しながら独学で作曲を学ぶ。1981年に「朱鷺によせる哀歌」でデビュー。以後いわゆる「現代音楽」の非音楽的な傾向に反発した「新（世紀末）抒情主義」を主唱し、5つの交響曲（第1番～第5番）、8つの協奏曲、オーケストラのための（鳥の連作）、（鳥のシリーズ）を始めとする室内楽作品、〈ブレイアデス舞曲集〉などのピアノ曲のほかギター曲、邦楽作品、舞台作品など多くの作品を発表。作品はそのほとんどがCD化されており、1998年からはイギリスのチャンドス（CHANDOS）とレジデント・コンポーザーの契約を結び、全オーケストラ作品を録音するプロジェクト（2005年現在7枚をリリース）が進行中。また、評論・エッセイなどの執筆活動のほか、FM音楽番組の解説者やイラストレーターとしても活躍中。著書に「魚座の音楽論」〔音楽の友社〕、「図解クラシック音楽大事典」〔学研編著〕に「クラシックの自由時間」〔立風書房〕などがある。

■公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/t-yoshimatsu/>

特定非営利活動法人

関西フィルハーモニー管弦楽団 KANSAI PHILHARMONIC ORCHESTRA



1970年発足。1982年関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。2003年より特定非営利活動法人（NPO法人）として生まれ変わり、関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。2001年、飯守泰次郎が常任指揮者に就任。また2007年、正指揮者を2000年より務めた藤岡幸夫が首席指揮者に就任。そして2008年、世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが首席客演指揮者に就任した。人間の営みから生まれた音楽…『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに、地域密着を重視。地元練習場での「コミュニティーコンサート」などで聴衆との交流を図り、関西出身の若

手アーティストも積極的に起用している。活動に明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとしてみます好評を博している。

■オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>

《特別割引チケット》

(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付/電話予約が必要です)

車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。

ジャパン・アーツ携帯サイト
<http://ja.cave.co.jp>

《次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい》

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。
- ②お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
- ③演奏中は入場できません。開演時間に遅れませんようご注意ください。
- ④未就学児の同伴はご遠慮下さい。またご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑤全指定席です。指定の座席でお聴きください。
- ⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑦ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。